

# Cisco Wide Area Application Services ( WAAS ) ソフトウェアのサービス拒否の脆弱性

Low	アドバイザーID : cisco-sa-20070718-waas	<a href="#">CVE-2007-3923</a>
	初公開日 : 2007-07-18 16:00	
	バージョン 1.1 : Final	
	CVSSスコア : <a href="#">3.3</a>	
	回避策 : <a href="#">Yes</a>	
	Cisco バグ ID :	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

Cisco Wide Area Application Services ( WAAS ) ソフトウェアには、WAAS ソフトウェアを実行しているデバイス ( WAE アプライアンスおよび NM-WAE-502 モジュール ) で、データトラフィックや管理トラフィックを含むすべての種類のトラフィックの処理が中断される可能性があるサービス拒否 ( DoS ) の脆弱性があります。この状況は、WAAS ソフトウェアを実行しているデバイスが、Common Internet File System ( CIFS ) 最適化を利用する Edge Services を提供するように設定されていて、ポート 139 または 445 で大量の TCP SYN パケットを受信した場合に発生する可能性があります。

シスコでは、該当するお客様用に、この脆弱性に対応する無償ソフトウェアを提供しております。この脆弱性に対しては、影響を緩和するための回避策があります。

このアドバイザーは [718-waas](#) で掲示されます。

## 該当製品

### 修正済みソフトウェア

このドキュメントで説明されている脆弱性は、CIFS 最適化を利用する Edge Services を提供するように設定された WAE アプライアンスと NM-WAE-502 ネットワーク モジュールの両方に適用されます。Edge Services と CIFS 最適化は、デフォルトでは無効になっています。CIFS 機能は、WAAS Central Manager から手動で Edge Services が設定された場合にのみ使

用可能になります。この脆弱性に該当するのは、WAAS ソフトウェアのバージョン 4.0.7 と 4.0.9 だけです。

Edge Services が設定されているかどうかを確認し、WAAS ソフトウェアのバージョン情報を表示するには、WAAS Central Manager の GUI を使用します。また、CLI から show version EXEC コマンドを実行した場合も、WAAS ソフトウェアのバージョン情報が表示されます。

Edge Services が設定されているかどうかを確認し、WAAS ソフトウェアのバージョン情報を表示するには、次の手順に従います。

1. WAAS Central Manager にログオンします。
2. Devices タブを選択します。
3. Services 列の下を確認します。Edge Services が設定されている場合は、「Edge」と表示されます。
4. Software Version 列の下を確認します。各デバイスのソフトウェアバージョンが表示されます。

次の例は、WAE アプライアンスの CLI から show version コマンドを実行した場合の出力を示しています。この例では、バージョン 4.0.9 が WAE で実行されています。

```
CE-115-16#show version
Cisco Wide Area Application Services Software (WAAS)
Copyright (c) 1999-2007 by Cisco Systems, Inc.
Cisco Wide Area Application Services Software Release 4.0.9
(build b10 Apr 6 2007)
Version: fe611-4.0.9.10
```

```
Compiled 15:26:06 Apr 6 2007 by cnbuild
```

```
System was restarted on Sat Jun 16 05:03:41 2007.
The system has been up for 33 minutes, 40 seconds.
```

```
CE-115-16#
```

## 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

このアドバイザリで明示的に指定されていない Cisco 製品および WAAS ソフトウェアのバージョンの中で、この脆弱性に該当するものは現在のところ見つかりません。

CIFS 最適化を実行する Edge Services を提供するように設定されていない WAE アプライアンスと NM-WAE-502 モジュールはこの問題には該当しません。NM-WAE-302 は CIFS 最適化を使用するように設定できないため、この脆弱性には該当しません。

### 改訂履歴

リビジョン 1.1	2007年7月21日	「脆弱性を含む製品」セクションに改訂を追加
-----------	------------	-----------------------

リビジョ ン 1.0	200 7 年 7 月 18 日	初版リリース
---------------	------------------------------	--------

## 利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。